



いっきに涼すずくなって、夜空よぞらの月つきがきれいに輝かがやく季節きせつになりました。
わたしはおだんごよりも読書どくしょが好きですが、みなさんはいかがでしょう
か。

☆ イチオシ 新着図書

● ふしぎ駄菓子屋 銭天堂 (廣嶋玲子 作 偕成社 墨字・点字)

そのお店は、幸運こううんのチャンスもを持つ人しかたどり着つけない、ふしぎな
駄菓子屋さん。女主人おんなしゅじんの紅子べにこさんは、お客きゃくの望のぞみにぴったりなお菓子
をすすめてくれますが…。食べるとおぼけがわいてくる「ホーンテッド
アイス」、食べたい料理りょうりの味あじがする木この実みをつける「クッキングツリー」
など、ドキドキ不思議ふしぎな6つのお菓子の話が入っています。小学3、4
年生くらいから。

● 水を縫う (寺地はるな 作 集英社 墨字)

「男おとこなのに」裁縫さいほうが好きな高校生すの清澄こうこうせいは、姉あねの水青みが「結婚式けっこんしきでか
わいいドレスは絶対ぜったいに着きたくない」とこぼしているのを聞き、自分きがド
レスを手作りてづくすると宣言せんげんします。

世よの中なかの「普通ふつう」を踏み越ふえていく、清澄こたち6人の家族かぞくの物語ものがたり。中
学生以上向け。

この2冊など、9月にはあわせて約20冊の新着図書がありました。

☆ 10月のピックアップ

● きょうはハロウィン（平山暉彦 作 福音館書店 墨字）

引っ越してきたばかりのけんちゃんは、今日がはじめてのハロウィン。最初はおばけがこわかったけんちゃんも、まちの子どもたちと一緒に家々をまわりはじめました。けれどけんちゃんは、なかなか「トリックオアトリート」が大きな声で言えません。

けんちゃんと一緒にドキドキしながら、ハロウィンの風習もよくわかる絵本です。4歳くらいから。

● 魔女の宅急便（角野栄子 作 墨字、点字、拡大）

魔女のキキは、13歳の満月の夜に、黒猫のジジとひとり立ちの旅に出ました。海に見えるコリコの街で宅急便屋さんを始めたキキは、恋の詩を届けたり、意外な方法で船乗りさんの困りごとを解決したり……。映画を知っている人も知らない人も、深く満足できる1冊。シリーズは本編6巻までのほか、特別編も2冊出版されています。小学校高学年くらいから。

☆ 読書通帳、応援します！

読んだ本を記録していく通帳、「読書通帳」に取り組んでいる学部もありますね。借りるときには本の値段も気になるところですが、自分が楽しいと思う本を読むのが一番おトク！何から読めばいいか迷っている方はぜひ司書にお声がけください。

☆次号も読書の秋を楽しむ特集をお届けします。